

新型コロナウイルス感染予防対策について

当社における、新型コロナウイルス感染予防の取組み状況をご案内いたします。
当社は新型コロナウイルス感染予防に、引き続き全力で取り組んでまいります。



路線バス



1. 車両の感染予防対策

- 空調や換気扇等の使用、及び悪天候時を除いて窓開けによる車内換気を徹底しています。
- 車庫出庫前、及び1運行終了毎にお客様が触れる箇所（手すり・つり革・降車ボタン等）を消毒しています。（写真①）
- 全車両、車内にクレベリンを設置しております。（写真②）
- 乗降口と運転席の間に透明ビニールカーテンによる仕切りを設けております。（写真③）



①



②



③

2. 乗務員の感染予防対策

- 出勤・退社時に、体温測定を実施し発熱やせき等のある者は帰宅させ自宅待機とする。体温測定結果は個別の体温管理シートに記載し、運行管理者が日毎の変動を管理・把握しています。（写真④：検温風景）
- 対面点呼を実施する点呼場には、飛沫感染防止のため透明ビニールカーテンを設けております。（写真⑤：点呼風景）
- 乗務員はマスクを着用して乗務します。
- 営業所内では、始業時、休憩後を含め定期的な手洗いを徹底している。また、休憩時間を含む勤務中のマスク等の装着を徹底しております。

3. お客様へのお願い

- マスクの着用と咳エチケットへのご協力をお願いいたします。
- 車内での会話の際は周囲にご配慮いただきますようお願いいたします。
- 飛沫感染防止のため、一部座席の使用を中止する場合がありますので、ご理解ご協力をお願いいたします。（写真⑥）



④



⑤



⑥



高速バス



1. 車両の感染予防対策

- 車両には「外気導入モード」を備えたエアコンを標準装備しており、エアコンが車内空気の状況を検知して、自動で外気導入による換気をしています。エアコンの活用とともに、出発前後における窓開けにより車内換気を徹底しています。
- 車庫出庫前及び1運行終了毎にお客様が触れる箇所（手すり等）を消毒しています。（写真⑦）
- お客様用の消毒液をバス入口に常備しています。（写真⑧）
- 乗降口と運転席の間に透明ビニールカーテンによる仕切りを設けております。（写真⑨）
- 全車両、車内にクレベリンを設置しております。



⑦



⑧



⑨

2. 乗務員の感染予防対策

- 出勤・退社時に、体温測定を実施し発熱やせき等のある者は帰宅させ自宅待機とする。体温測定結果は個別の体温管理シートに記載し、運行管理者が日毎の変動を管理・把握しています。（写真⑩：検温風景）
- 対面点呼を実施する点呼場には、飛沫感染防止のため透明ビニールカーテンを設けております。（写真⑪：点呼風景）
- 乗務員はマスクを着用して乗務します。
- 営業所内では、始業時、休憩後を含め定期的な手洗いを徹底している。また、休憩時間を含む勤務中のマスク等の装着を徹底しております。



⑩



⑪

3. お客様へのお願い

- 乗車券のご購入はできるだけインターネット販売をご利用ください。
- ご乗車前の検温、手指の消毒、マスクの着用と咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- 車内での会話の際は周囲にご配慮いただきますようお願いいたします。
- 乗降時は間隔を空けて乗り降りしていただきますようお願いいたします。
（車内の混雑緩和のため、予め座席総数を制限して乗車券を発売する場合がございます。）
- お手洗い使用後は便座の蓋を閉めていただくようお願いいたします。
- 車内での飲食は出来るだけ避け、飲酒や大きな声での会話は控えていただきますようお願いいたします。

